

# EU Indicators

## 欧州経済指標コメント：9月ユーロ圏小売売上

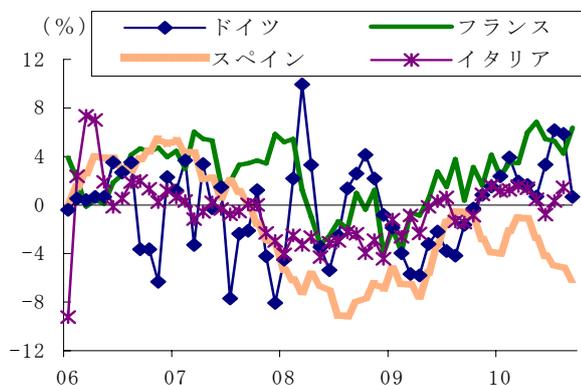
発表日：2010年11月8日(月)

～ドイツの労働市場改革の明と暗：雇用増加の割に改善の遅れる小売統計～

第一生命経済研究所 経済調査部  
主任エコノミスト 田中 理  
03-5221-4527

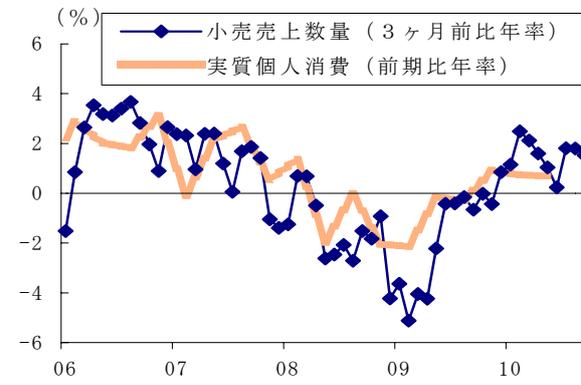
- 9月のユーロ圏の小売売上(数量ベース、自動車除く)は前月比▲0.2%と、小幅プラスとの事前予想(同+0.1%)を下振れした。もっとも、過去3ヶ月が合計+0.4%ポイント上方修正され、全体としてみれば予想比インラインといったところ。費目別には、食料・飲料・たばこ、非食料品ともに減少(表)。国別には、スペインやアイルランドなど内需低迷が伝えられる国が減少したことに加えて、内需回復が伝えられるドイツやフランスも落ち込んだ(左図：但し、図は3ヶ月前比年率値)。
  - 7-9月期平均では前期比+0.4%と堅調が持続。四半期換算のトレンドに相当する3ヶ月前比年率値はプラス圏にあり、12日発表の7-9月期GDP速報の個人消費はプラスとなる公算(右図)。当社では同期の成長率について、スペインがゼロないし小幅マイナス、ドイツ、フランス、イタリアが前期比+0.4~0.5%程度と予想、ユーロ圏全体でも同+0.4%程度を見込む(コンセンサスは同+0.5%)。
  - ドイツでは雇用の目覚ましい改善の割に小売統計の改善が遅れている印象。景気後退期の失業増加を食い止めた時短労働者は今年に入って減少し、フルタイム労働へのシフトは着実に進んでいる。だが「この1年で生まれた43.6万人のフルタイム雇用のうち、25万人は契約労働者(F T紙・11/5)」。
- 質を伴わない雇用の増加が、失業統計が示唆するよりも、家計の所得形成力を弱くしている。

■ 主なユーロ加盟国の小売売上数量



注：3ヶ月移動平均、3ヶ月前比年率  
出所：Eurostat

■ ユーロ圏の小売売上数量と実質個人消費



注：小売売上数量は3ヶ月移動平均、3ヶ月前比年率  
出所：Eurostat

■ ユーロ圏の小売売上数量(季節調整済み、前期<月>比、%)

	2009				2010							
	4Q	1Q	2Q	3Q	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
小売売上数量・合計	0.2	0.5	0.1	0.4	0.0	0.7	-0.9	0.5	0.4	0.2	-0.2	-0.2
食料・飲料・タバコ	0.3	0.6	-0.3	-0.0	-0.1	0.5	-1.0	0.7	-0.3	0.5	-0.8	-0.1
非食料品(自動車燃料含む)	-0.1	0.5	0.5	1.0	0.1	0.9	-0.8	0.8	0.8	0.1	0.7	-0.8
衣料・履物	1.4	2.0	-1.5	-	-0.7	1.8	-2.5	-0.5	1.2	2.2	0.4	-
電気機器・家具	0.6	0.1	1.1	-	0.6	1.2	-0.8	1.3	0.1	-1.0	1.1	-
コンピュータ機器・書籍	0.1	0.9	0.6	-	0.5	0.9	-0.7	0.6	0.3	-0.2	0.9	-
医薬品	0.9	0.7	0.8	-	0.6	0.9	-0.4	0.5	0.2	0.2	0.5	-
通販・ネット販売	1.3	0.4	-0.7	-	1.4	0.6	-3.0	0.9	2.5	0.2	0.6	-

出所：Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。